

アンケート

集計結果

○出席者 215名

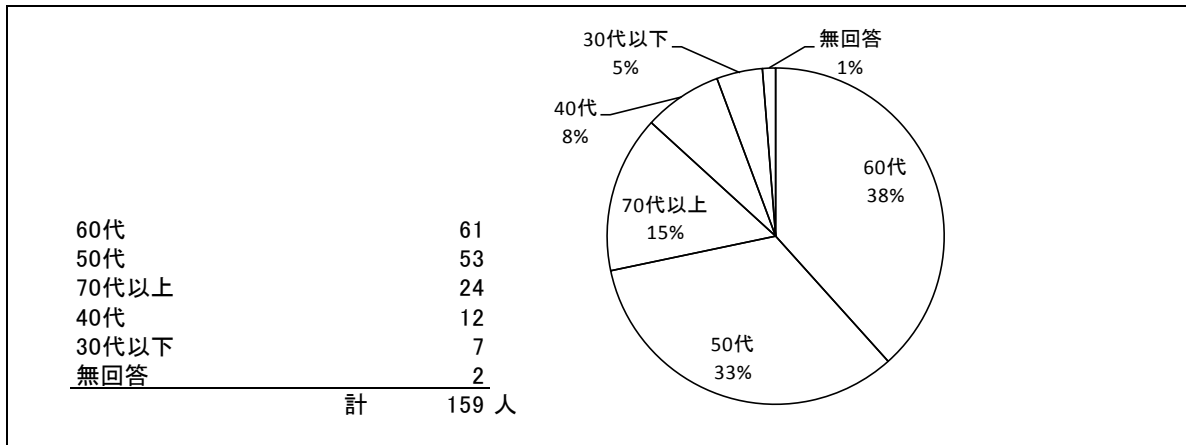
(内訳) まち協 98 公民館 11 地域協 15 区長 10 一般 8 市議 14 市職員 59

○アンケート配布数 200枚

○回収数 159枚

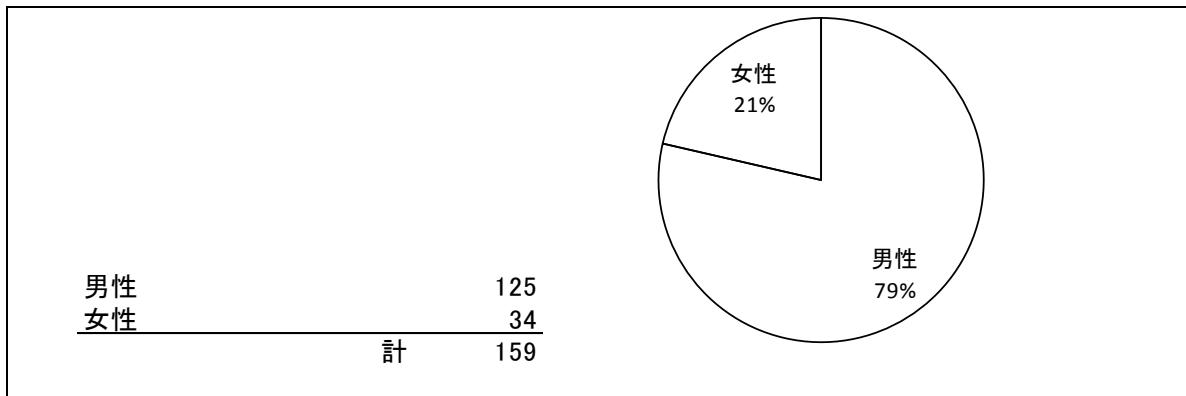
問1 あなたの年齢(年代)は

- ① 30代以下 ② 40代 ③ 50代 ④ 60代 ⑤ 70代以上



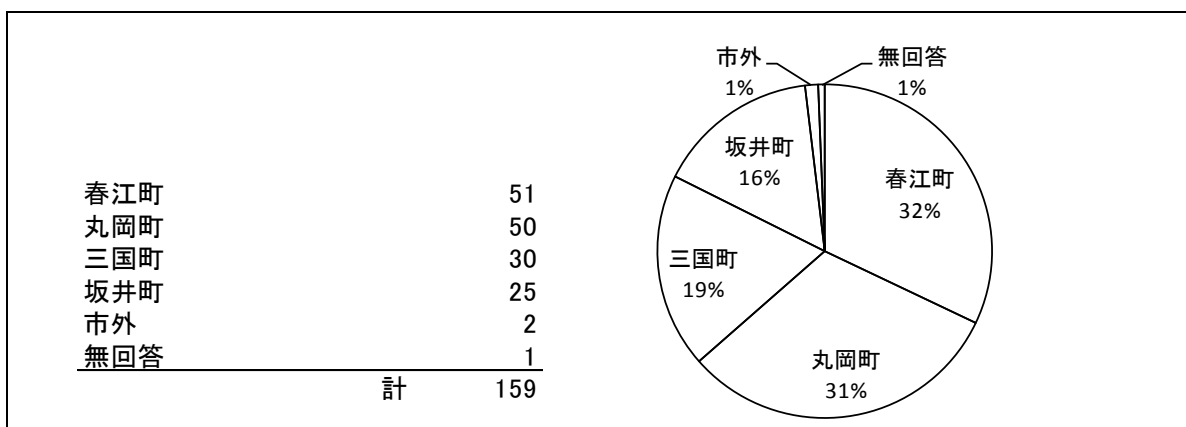
問2 あなたの性別は

- ① 男性 ② 女性



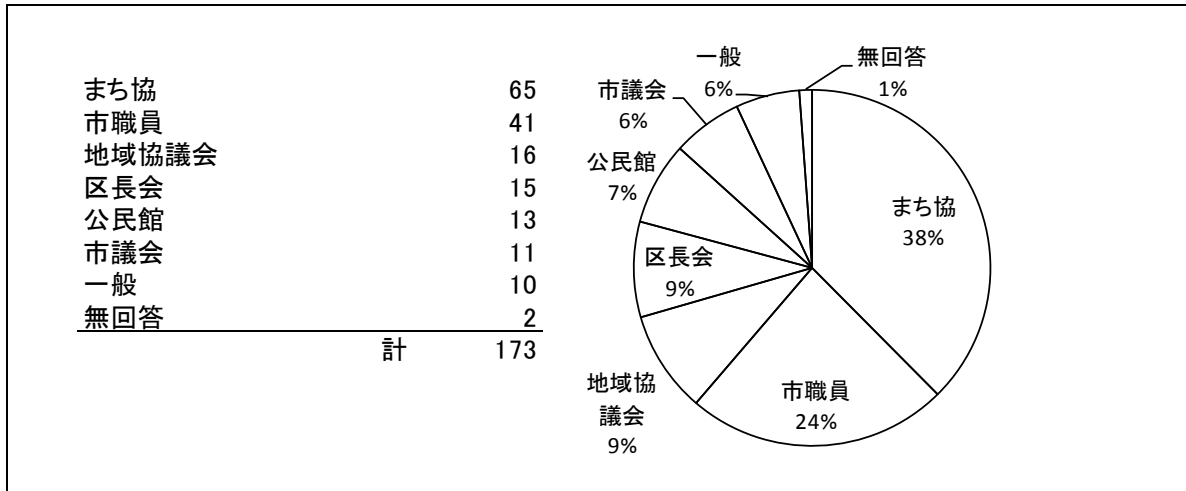
問3 あなたのお住まいは、何処ですか。

- ① 三国町 ② 丸岡町 ③ 春江町 ④ 坂井町 ⑤ 市外



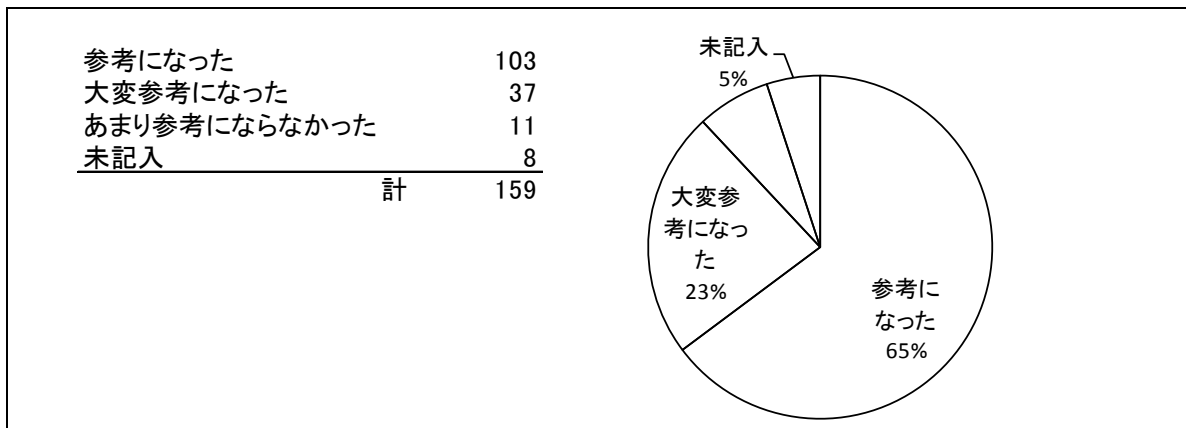
問4 今回の講演会には、どの組織から参加していただきましたか。

- ① まち協 ② 区長会 ③ 地域協議会 ④ 市議会
 ⑤ 公民館 ⑥ 一般 ⑦ 市職員



問5 今回講演した八幡学区まちづくり協議会の取り組みは、あなたの住む地域のまちづくり協議会にとって参考になりましたか。

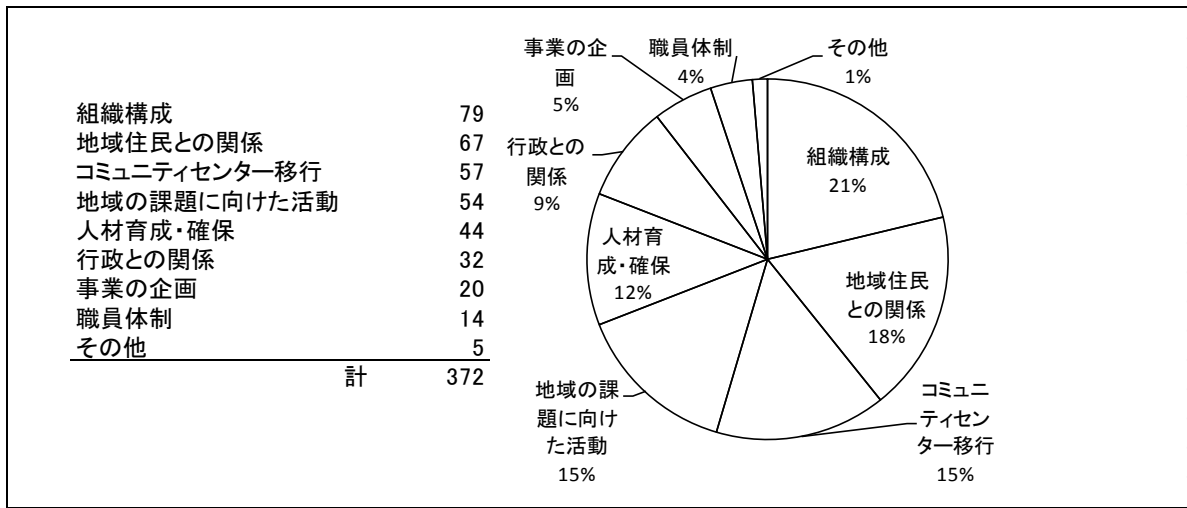
- ① 大変参考になった ② 参考になった ③ あまり参考にならなかった



問6 <<問5で①又は②と答えた方のみお答えください>>

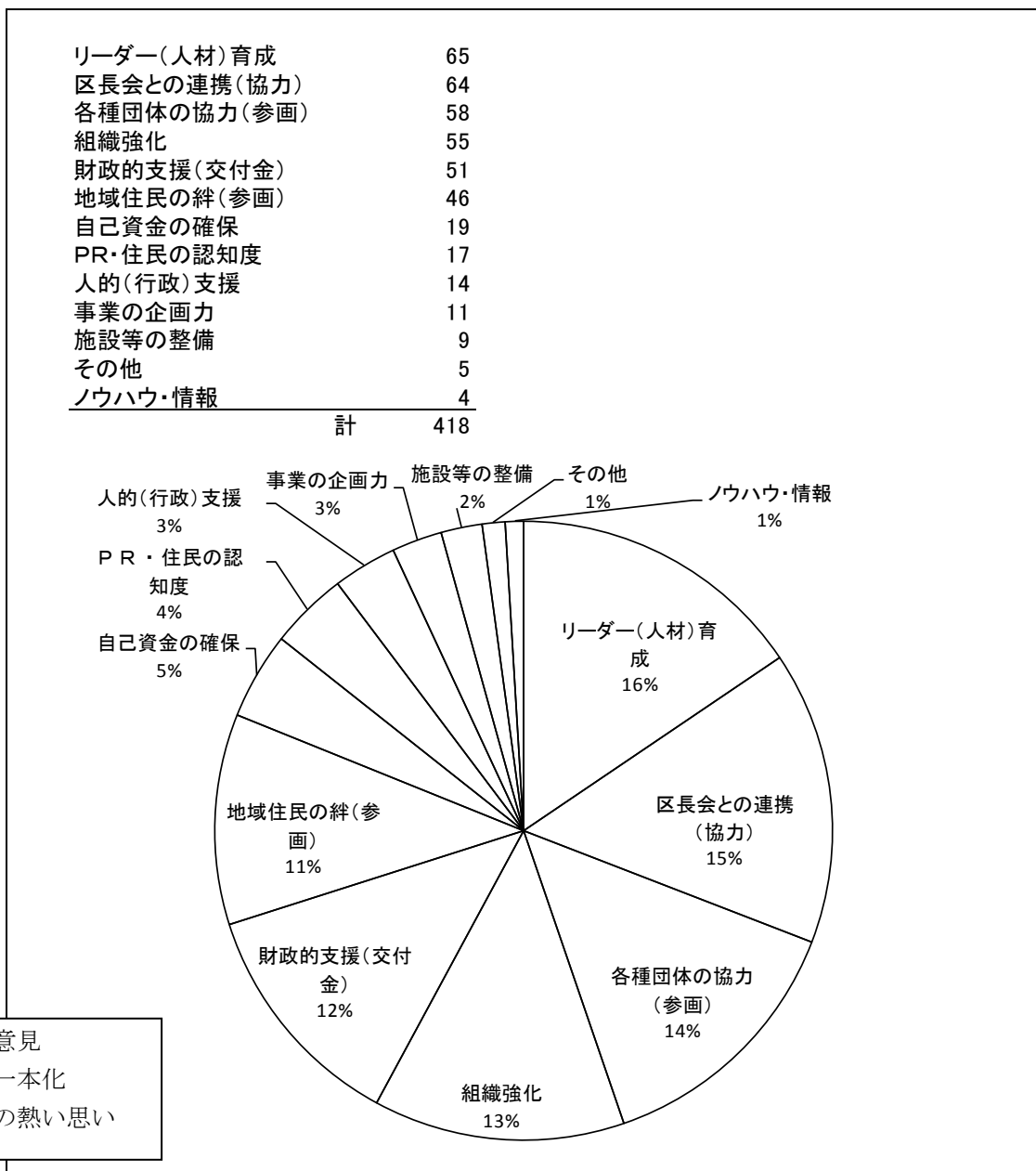
八幡学区まちづくり協議会の取り組み等について、参考にしてみたいと考えるものを次から3つ以内でお答えください。

- ① 組織構成 ② 職員体制 ③ 地域の課題解決に向けた活動
 ④ コミュニティセンター移行（旧公民館事業とまち協事業の統合による運営）
 ⑤ 人材育成・確保 ⑥ 事業の企画 ⑦ 行政との関係 ⑧ 地域住民との関係
 ⑨ その他（具体的に記載してください）



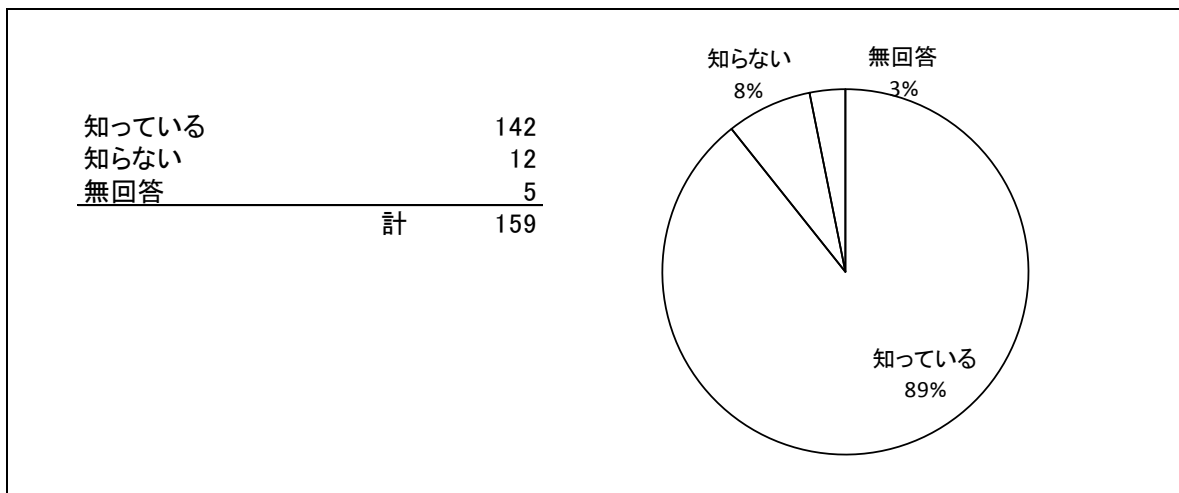
問7 今回の講演を聞いて、協働のまちづくりを進めるうえで重要と考えるものを、次から3つ以内でお答えください。

- | | | |
|---------------------|---------------|--------------|
| ① 自己資金の確保 | ② 財政的支援（交付金） | ③ 人的（行政）支援 |
| ④ 組織強化 | ⑤ 地域住民の絆（参画） | ⑥ リーダー（人材）育成 |
| ⑦ 区長会との連携（協力） | ⑧ 各種団体の協力（参画） | ⑨ PR・住民の認知度 |
| ⑩ 事業の企画力 | ⑪ ノウハウ・情報 | ⑫ 施設等の整備 |
| ⑬ その他（具体的に記載してください） | | |



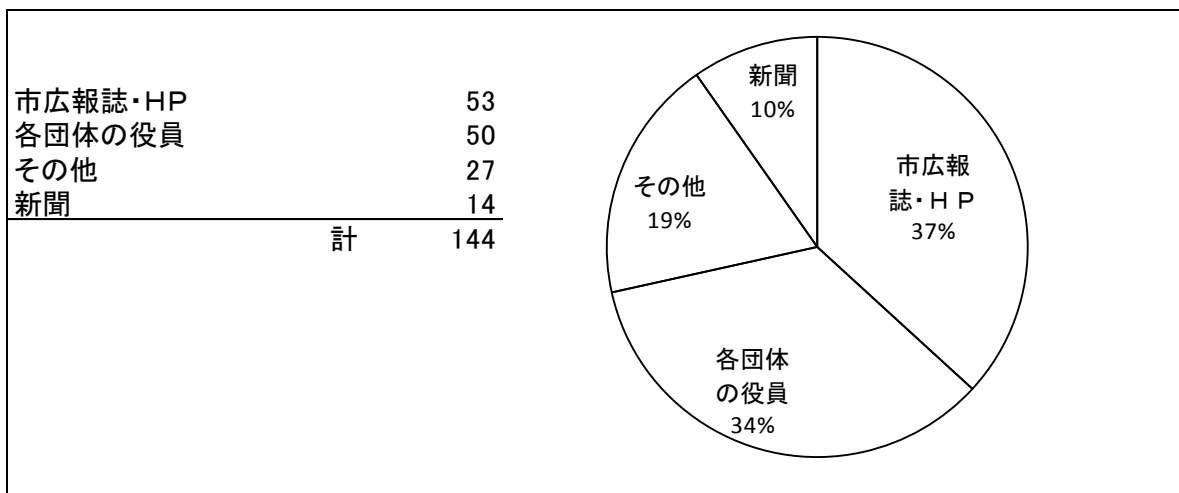
問8 現在坂井市では、「コミュニティセンター検討委員会」を設置し、公民館をコミュニティセンターに移行することを検討していますが、このことを知っていますか。

- ① 知っている ② 知らない



問9 <<問8で①と答えた方のみお答えください>>
どの様な方法でコミュニティセンター検討委員会のことを知りましたか。

- ① 市広報誌・HP ② 各団体の役員 ③ 新聞 ④ その他（ ）



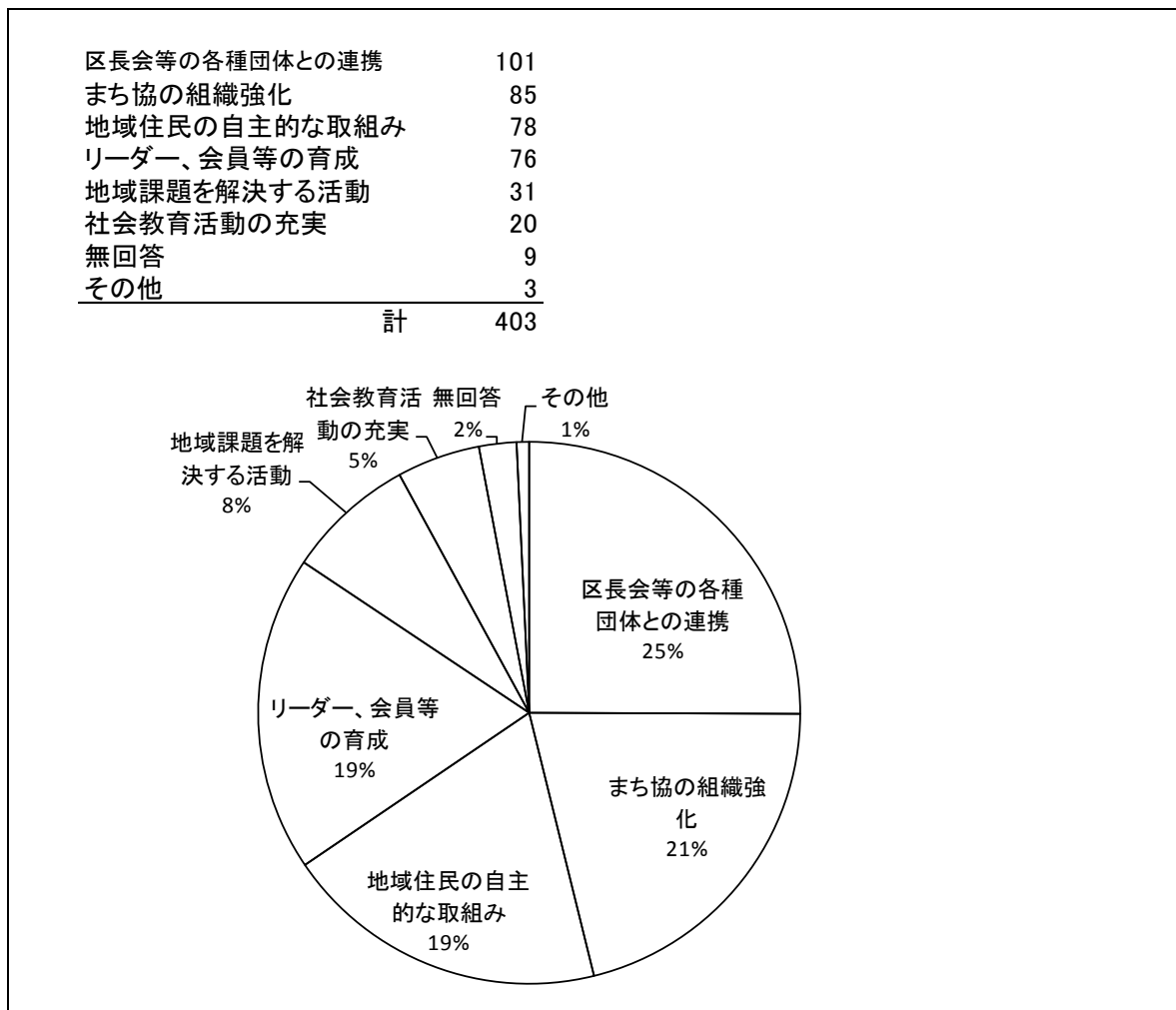
その他

職員、まち協、検討委員会委員、地域協議会、議会、理事者、社会教育委員会
公民館長、職務で

問10 コミュニティセンターに移行していくために重要と思われるものを、次から3つ以内でお答えください。

(注) センターの管理及びセンター職員の雇用は、ともに市が行うという前提でお答えください。

- ① 地域課題を解決する活動 ② 地域住民の自主的な取り組み ③ まち協の組織強化
 ④ 区長会等の各種団体との連携 ⑤ 社会教育活動の充実 ⑥ リーダー、会員等の育成
 ⑦ その他 (具体的に記載してください)



その他

- ・一斉に移行するのではなく、各地区の実情にあわせて。
- ・自由裁量の範囲
- ・移行の支障はない

自由意見

・協働のまちづくりに関する意見を自由に記載してください

区長会への説明が不足している。区長さんから理解を得られていない。条例に各区がまち協への参加を記載していることに、市も要請してはどうか。区長の参加率は？教えてください。

協働のまちづくりの目的として、地域課題解決が住民の共通の意識となるのではないかな。

区長会の会議にまち協役員も出席した方がよいのではないかな。

住民同士が信頼できる地域になれるような働き掛けで心の暖まる地域をつくっていききたい。

私達の住む地域に関心をもって自分の地域は自分で作るという自覚をもつことが大事である。地域のイベントには積極的に参加したい。まち協に入ることも大切です。

協働まちづくり基本条例でのまち協の位置づけを知りたい。まち協の運営について参考になりにくい。

区長の協力が必要と思うが、それができていない。

区長が必ずまち協に参加すべき。

近江八幡市の発表にふれとても感動しました。坂井市の場合は組織の体制が確立されないまま進んでしまい、広がっていかない。再度、組織の強化に行政の後押しが必要と思われた。

組織作りが先に有りすぎて、事業、方向性、組織編成が十分に検討されないままスタートしたように思い、丁寧に住民に十分な説明と理解を得るのに時間をかける必要があると感じた。

坂井市は敬老会を公民館に移行するようだが、八幡市のように各区でやっていただいた方が良いと思いました。老人の移動、会場の環境（トイレの数、部屋の広さ etc）を考えると参加する人が限られるが、区だと送迎もし易い。

23のまち協で温度差がある。区長が入っていない地区もあるので、まだまだ時間をかけてやるべき。

組織の在り方が根本的に違う。あらゆる組織が入っていることは重要。坂井市の場合、やる気のある人の個人的な想いで組織されている。スタートにしっかりと組織づくりができなかったように思う。

既存の区長会連合会等団体の実績があるので、整理してから物事を進めていく必要があると感じた。

センターを運営する執行部の資質や継続していける体制づくりが必要。一過性で終わらないような人的担保が必要。

このアンケートはどういうようにいかしていくつもりで、結果をどういう形で報告していただけますか。返事ください。

坂井市の各まち協の現組織をどう改善していくか参考にならない。

立ち上げるまでは大変難しい市民の理解を増す様市民の場で話し合いたい。

コミセン組織規模をどこまでにするか。活性化と行動での適正規模の検討も必要。八幡学区の規模は旧三国町の2/3である。坂井市とのまち協との規模との違いが予算に影響、制約にもなるのでは。

若者の参画、リーダー育成のため育成の場作りが必要（大学との連携）

市職員やOBをまち協に参加させる方法を検討する（条例が必要）

まち協の単位を考え直しては（小学校区など）

春江中公民館の改築について、支所空スペースを極力活用したら。

人材の確保が大切

環境部会が最終的に観光客をよぶことにもなり、地味な活動が多く効果を生む

まち協設立準備委員会時に、社協と体育振興会の名前が出ていたが、どういう関係だったのか知りたい

独立して進めるより、多くの団体や人々の力を纏める事で、良い成果が生まれると分かった。福祉に関し、命のバトンという取り組みを参考にし、多くの人に用いることのできる取り組みができたらいいと思いました。

区長会との協力関係を如何に構築するか。公民館講座はどうなるのか。各種団体との兼ね合い？